

市民ワークショップ 第1回

～これからの公共施設のあり方を考えよう～

平成26年9月26日(金)10時～12時

プログラム



1. 開会あいさつ	10:00～10:05
2. ワークショップ実施にあたって	10:05～10:10 (5分)
3. 公共施設マネジメントの取組概要	10:10～10:30 (20分)
4. グループワーク	10:30～11:20 (50分)
5. 休憩	11:20～11:30 (10分)
6. 全体発表・意見交換会	11:30～11:50 (20分)
7. まとめと次回の開催	11:50～12:00 (10分)
8. 閉会	

ワークショップの実施にあたって

1.ワークショップの説明

2.本庄市の公共施設等の概況

3.本庄市の主な取り組み

1.ワークショップの説明

(1)ワークショップの目的



本庄市の公共施設のあり方を考える ワークショップ

- ・市の公共施設の現状や問題点はどうか？
- ・本庄市において公共施設をどうしていったらよいか？
- ・公共施設を将来にわたってより良く効率的に活用するためには？



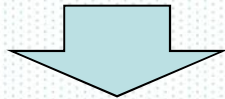
2回のワークショップを開催し、みなさんで考え、みなさんのご意見を参考に公共施設再配置計画を策定していきます。また、多くの方々に市の公共施設の現状についての理解や関心を高めていくことも目指していきます。

1.ワークショップの説明

(2)2回のワークショップの進め方

第1回(本日)

初回として「本庄市の公共施設の良い点・悪い点」を整理します。
また、「公共施設の今後のあり方(将来どうあるべきか)」を考えます。



第2回(10月24日)

「公共施設のあり方の検討」として、学校施設の複合化を検討テーマとして、複合施設に導入が期待される機能や複合化にあたっての課題について考えます。

1.ワークショップの説明

グループワークでは、班ごとに意見を出し合い、
机上の模造紙に書き込みます



1.ワークショップの説明

(3)ワークショップの実施にあたって

様々な人が集まり、共通の体験や意見交換を行うことで相互の理解をはかり、また新しい発見をし、さらに問題解決の工夫を考えることがワークショップ

～ ワークショップを進める上での姿勢 ～

1. 自分の考えや疑問を積極的に伝え、
2. みんなの意見に耳を傾けて、
3. 出た意見は記録します。

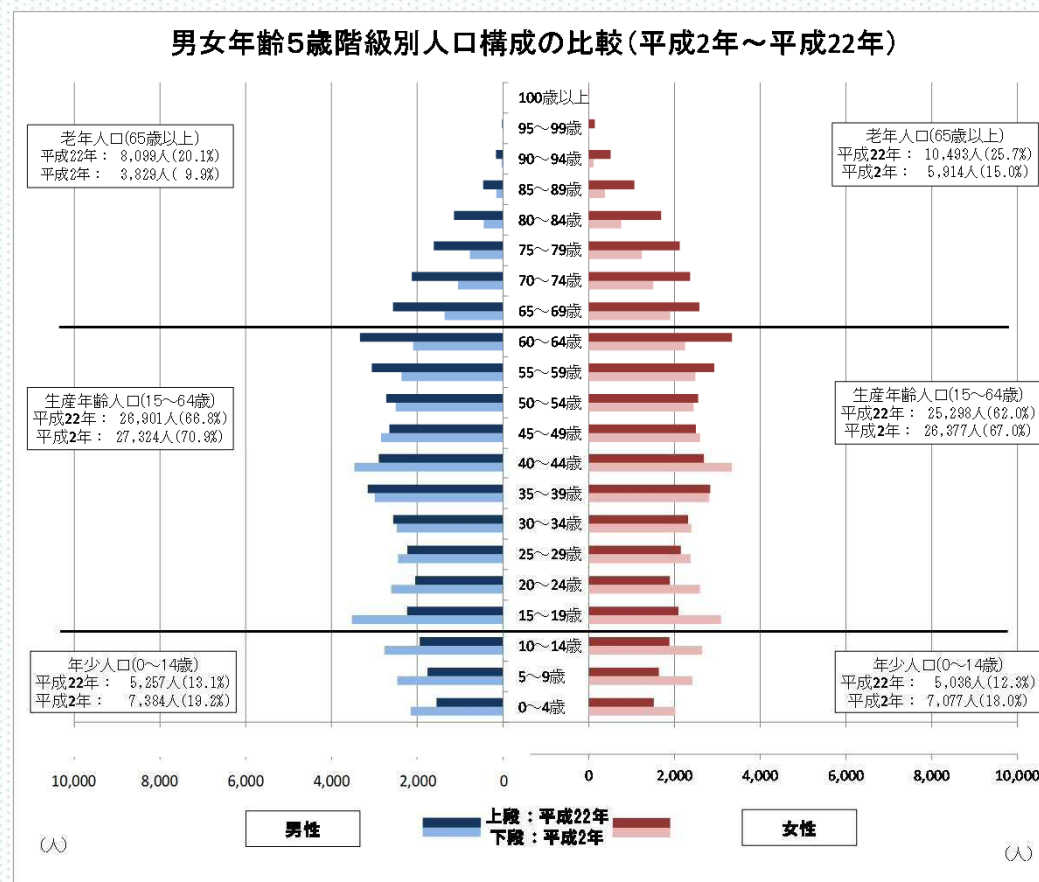
2.本庄市の公共施設等の概況

(1)人口の推移

人口減少と少子高齢化が進行

	人口	世帯数
昭和43年	63,857	15,507
平成13年	81,178	28,220
平成25年	78,086	31,544

※平成18年以前の数値は旧本庄市・旧児玉町合計



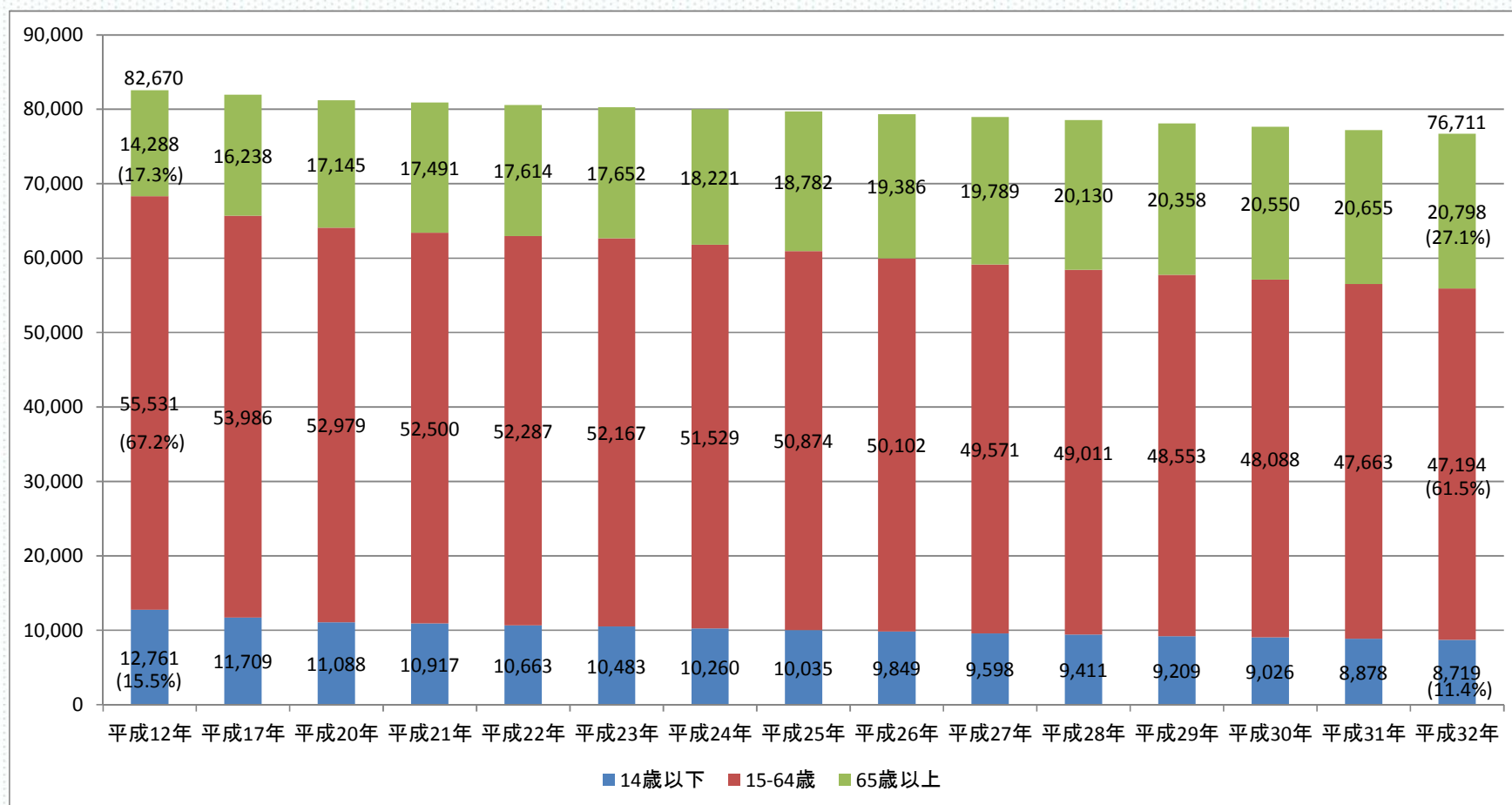
(資料:国勢調査)

2.本庄市の公共施設等の概況

(2) 将来人口の見通し

将来的にも人口減少・少子高齢化が進行する見通し

<コーホート法による将来人口の推計>

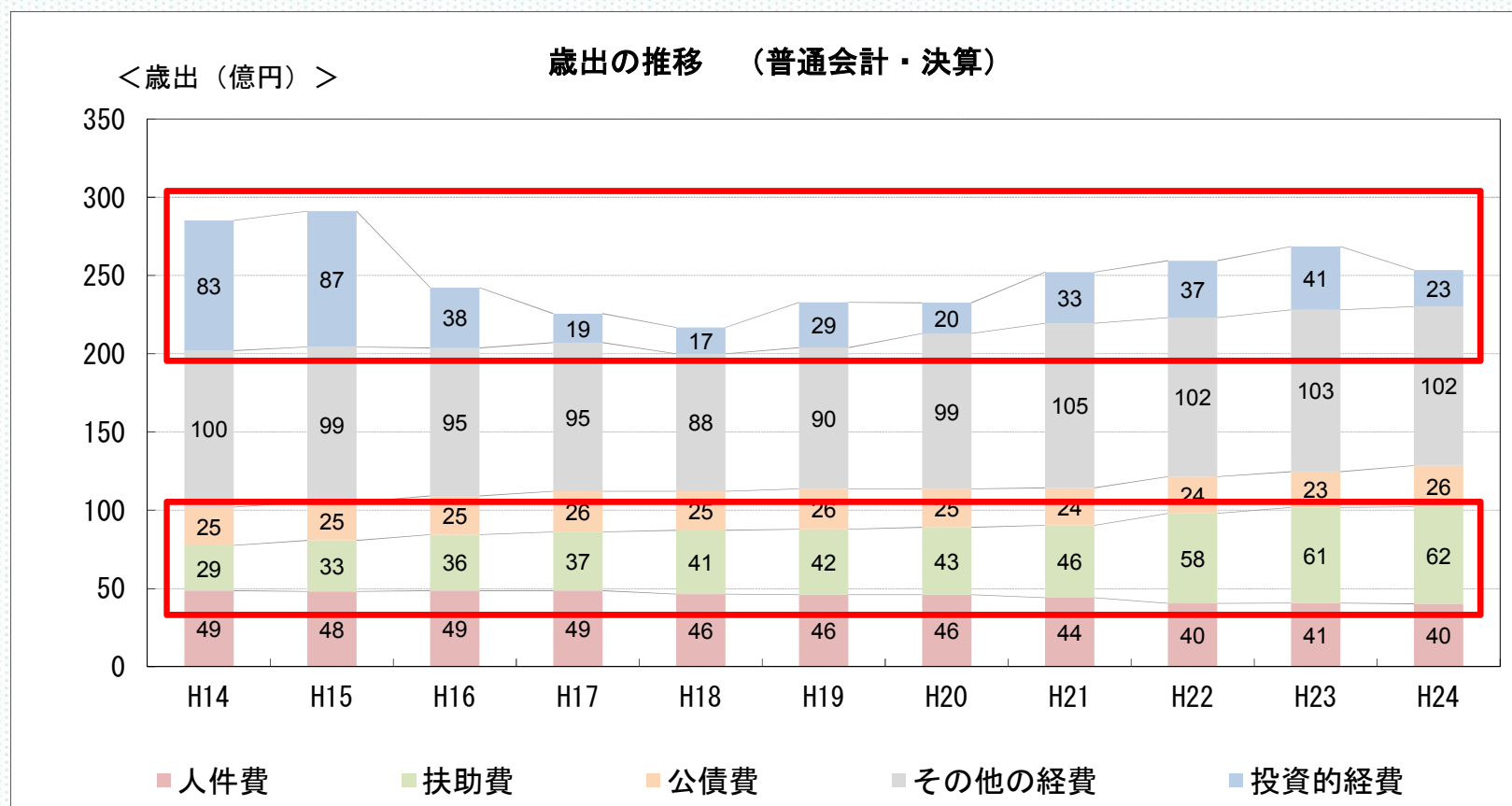


(資料:本庄市将来フレームの検討(本庄市総合振興計画人口推移の根拠資料))

2.本庄市の公共施設等の概況

(3)市の財政状況

投資的経費（公共施設の建設等に係る経費）が減少傾向
扶助費（社会保障関係費）が年々増加。



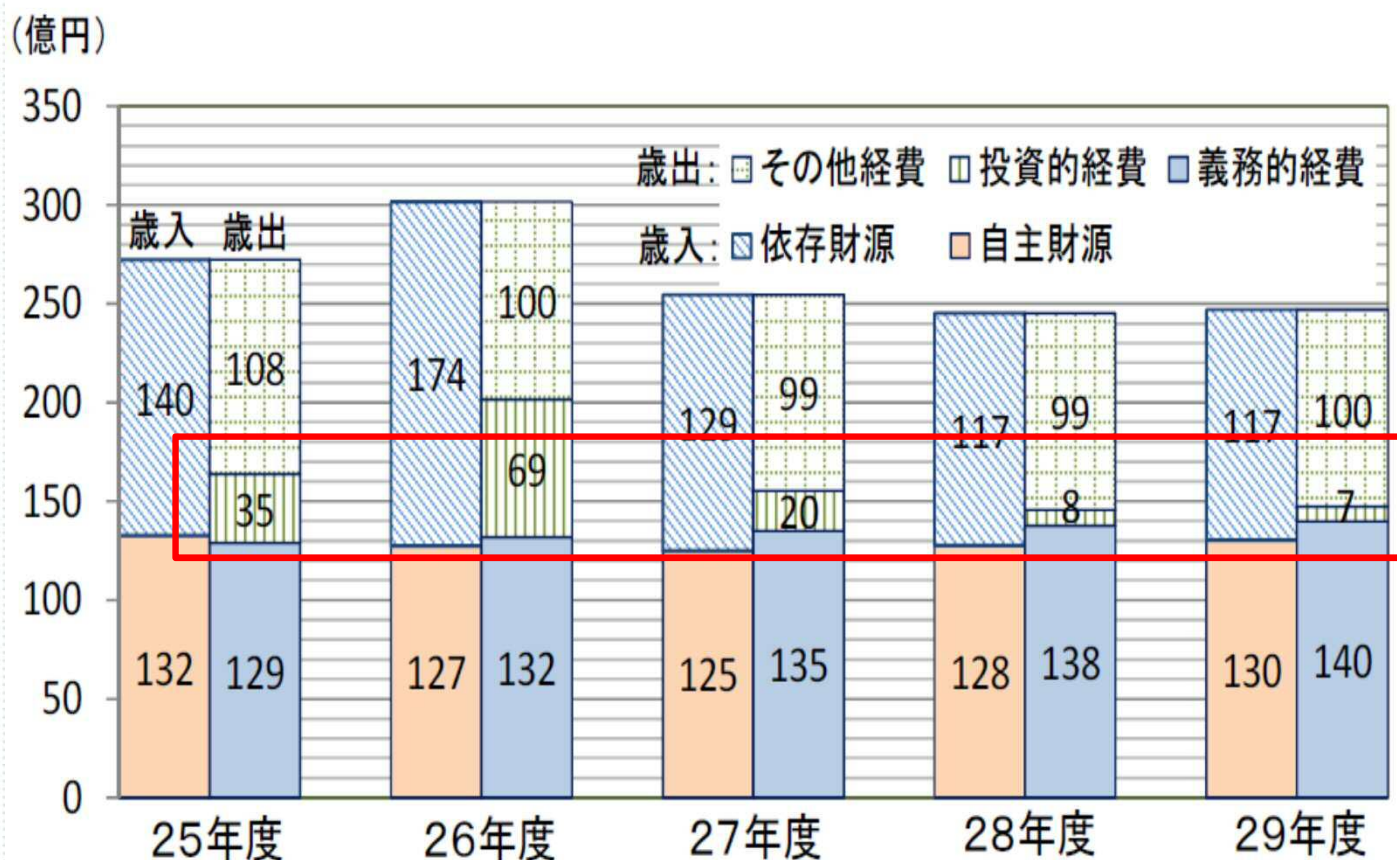
（資料：本庄市の財政状況の概要）

2.本庄市の公共施設等の概況

(4)財政収支の見通し

投資的経費が大きく減少する見込み

＜本庄市中期財政収支見通し(平成25年度～平成29年度)＞



(出典:本庄市中期財政収支見通し(平成25年度～平成29年度))

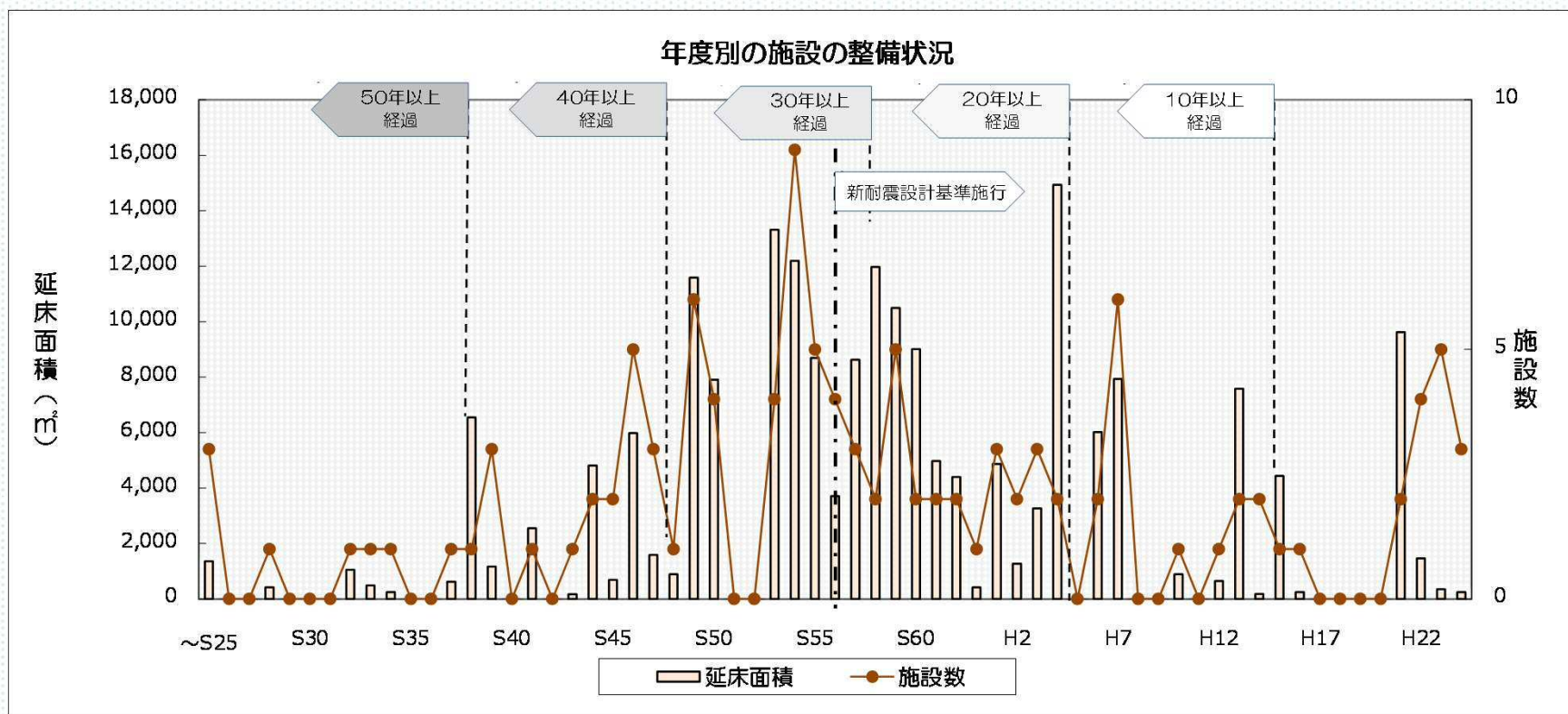
2.本庄市の公共施設等の概況

(5) 公共施設－老朽化状況

公共施設の老朽化が進行

(築後20年以上約80%、築後30年以上約53%、築後40年以上:約14%)

※本庄市公共施設マネジメント白書の対象施設(116施設)



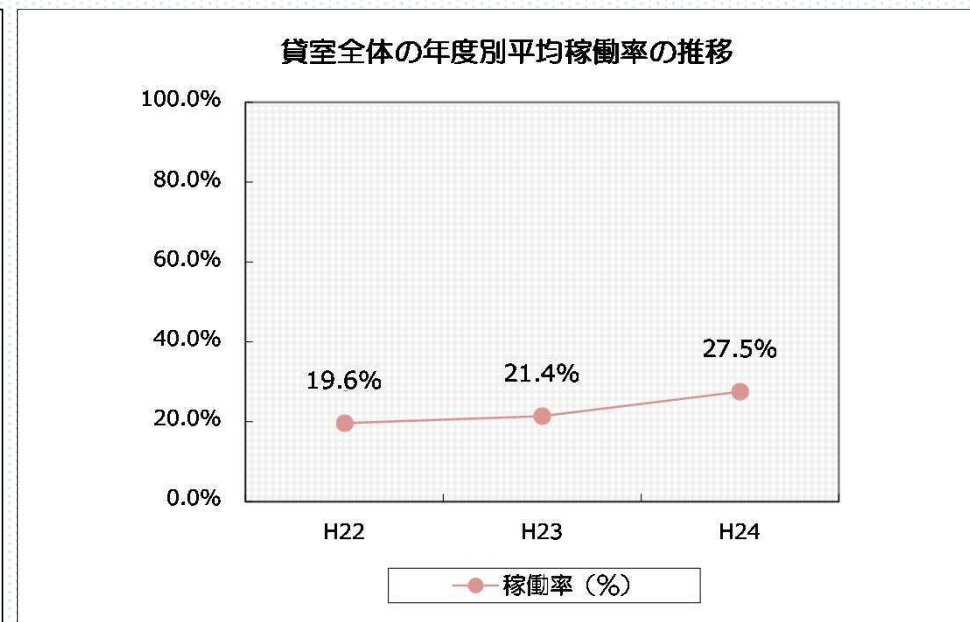
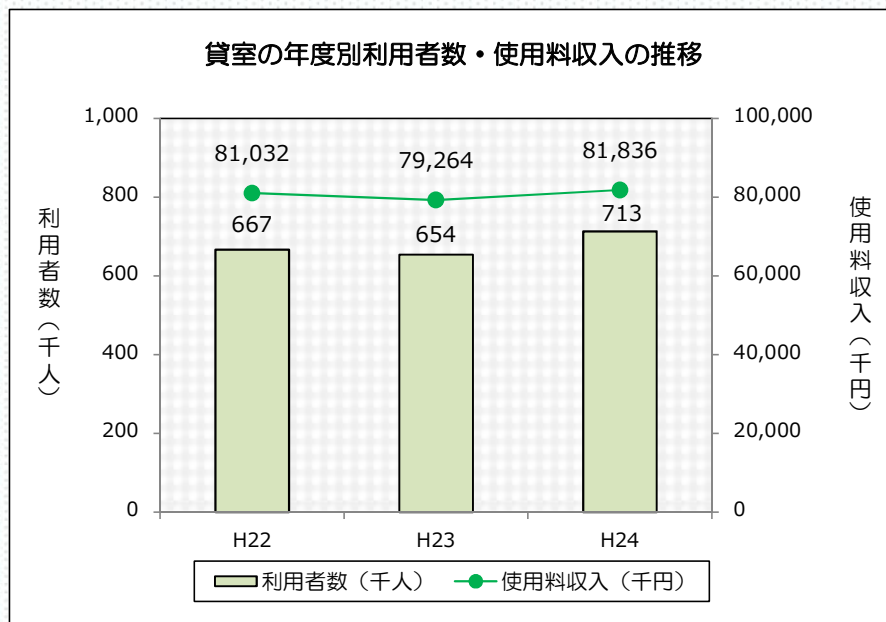
2.本庄市の公共施設等の概況

(6) 公共施設－利用状況

利用者数は概ね横ばい(H22→H24)

貸室全体の稼働率は約3割以下

(公民館、文化会館、体育館など貸室を有する施設の全体平均値)



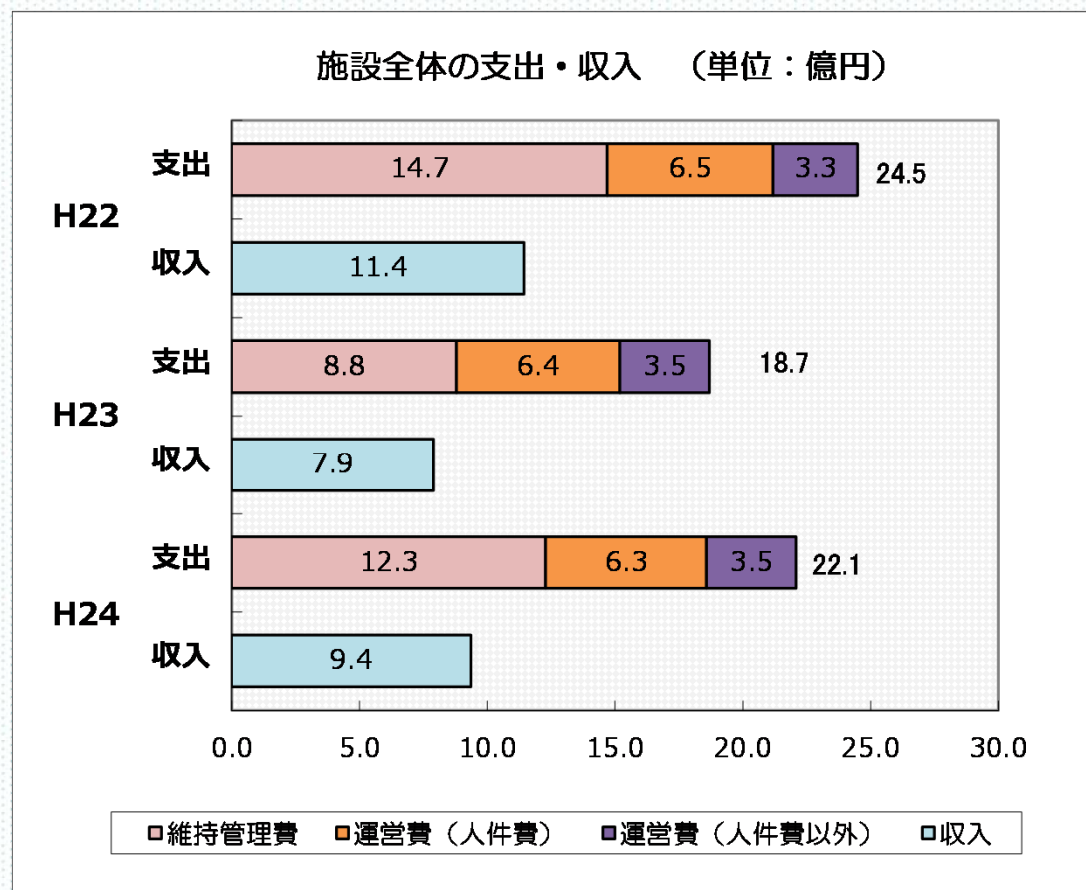
※稼働率は、各施設が提供する貸室の年間の提供区分総数に対する利用区分総数の割合。

2.本庄市の公共施設等の概況

(7) 公共施設—維持管理・運営費

支出・収入とも減少傾向(H22→H24)

支出合計は約22.1億円(H24)



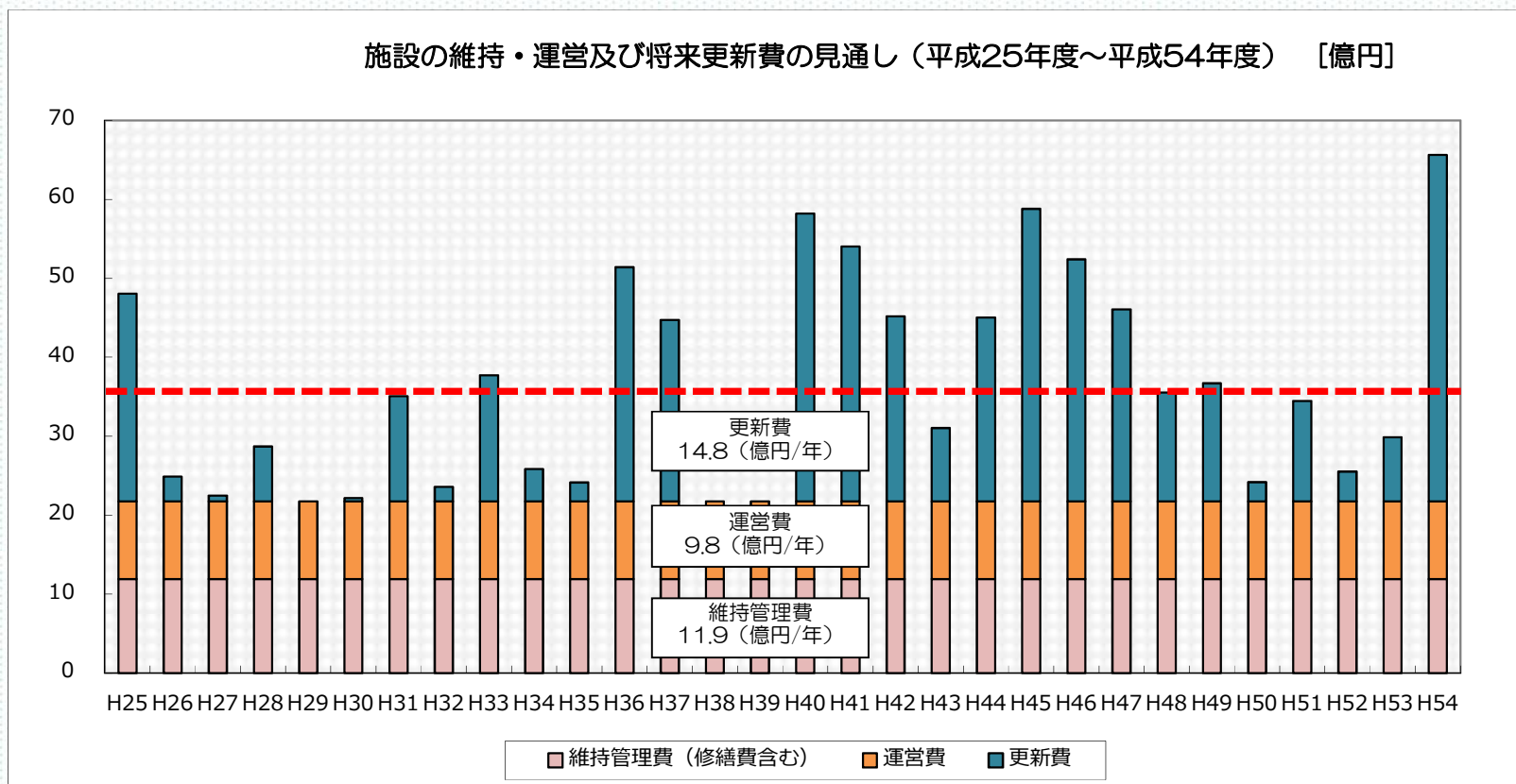
2.本庄市の公共施設等の概況

(8) 公共施設－維持・更新費の見通し

今後30年間の更新費(建替費)は約444億円(14.8億円/年)

→財政の見通しのH29投資的経費(7億円)を上回る

施設の維持・運営・更新コストとして約36.5億円/年が必要



※運営費と維持管理費は、施設種別実態調査に基づく平成22年度から平成24年度の平均額。

2.本庄市の公共施設等の概況

■ 本庄市の公共施設が抱える主な課題

①財政負担の縮減

- 施設を維持するための将来経費が大きな財政負担
- 投資的経費の減少、生産年齢人口の減少、扶助費の増加等、厳しい財政状況が想定

②施設の安全性確保

- 公共施設の老朽化が進行(特に公民館、学校等)
- 公民館等の一部施設で耐震化対応が必要

③施設サービスの効率化・質の向上

- 稼働率の向上による施設有効活用(公民館、文化施設等)
- 人口減少・少子高齢化や、各地域での施設設置状況、ニーズに応じた施設・サービスの見直し

3.本庄市の主な取り組み

■ 本庄市公共施設マネジメント白書(H26.3)

- 市が保有する公共施設(建築物)の利用状況や建物の状況、維持管理にかかる費用などの全体像を明確にするもの。
- 市民と情報共有し、今後の施設全体のあり方を検討するための基礎資料として作成。
- 平成25年度に作成し、市ホームページに公表。

※詳細は配布資料(白書概要版)を参照。

本庄市公共施設マネジメント白書



※写真は、左上より、図書館、市役所、市民文化会館、本庄総合公園体育館(シルクドーム)、児童文化会館(セルディア)、元山総合公園体育館(エコーヒア)。

平成 26 年 3 月
本 庄 市

3.本庄市の主な取り組み

■ 公共施設再配置・複合機能 検討懇談会



- 公共施設の再配置の検討、新たな複合施設の機能検討等について、意見を頂くことを目的としてH24年1月に設置。
- 17団体より市民委員21名で構成
- 平成26年度よりアドバイザーとして小松幸夫教授が参加
(早稲田大学理工学術院創造理工学部建築学科)
- 平成24年に計3回の懇談会を開催
(市民プラザ跡地複合施設、児玉総合支所複合施設の機能について検討)
- 今年度に2回の懇談会を開催(今年度内に計4回開催予定)

3.本庄市の主な取り組み

平成26年度公共施設再配置・複合機能検討懇談会の開催内容

回数(開催時期)	開催内容
第1回(H26.6.20)	本庄市公共施設マネジメント白書(報告) 公共施設再配置の概要及び進め方 市民アンケート調査
第2回(H26.8.25)	市民アンケート実施概要(速報) 公共施設再配置計画に係る基本方針(案)等 ケーススタディの検討ケース(案)
第3回(H26.12(予定))	公共施設再配置計画(案)
第4回(H27.2(予定))	パブリックコメント結果(報告) 公共施設再配置計画(案) の最終確認

3.本庄市の主な取り組み

【公共施設再配置計画の基本方針(案)】 ※現在検討中

- ① **財政負担の縮減**
 - 施設の統合・整理や複合化（施設総量の規制）、長寿命化を図るとともに、既存施設の効率的な維持管理・運営と効果的な活用により財政負担の縮減に取り組む。
- ② **施設の安全性確保**
 - 耐震改修や老朽化対策等による施設の安全性の確保に取り組む。
- ③ **施設サービスの効率化と質の向上**
 - 市民ニーズや社会情勢の変化に応じた提供サービスの集約・重点化等による施設サービスの見直しや効率化とともに、施設の利用改善及びサービスの質の向上に取り組む。

3.本庄市の主な取り組み

【公共施設再配置計画の基本原則(案)】 ※現在検討中

【原則1】公共施設の総数を削減する。

～ 現在の保有数（116施設）から増やさない ～

- 原則として施設の新規整備は行わず、既存施設の有効活用を図る。
- 施設を更新する際には、複合化を検討する。
- 複合化により空いた施設や土地は、活用・処分を促進する。

【原則2】公共施設の総量（総床面積）を削減する。

～ 30年間で1割（約2万㎡）の削減を目標とする ～

- 機能の重複する施設や更新の優先度の低い施設については、統合・整理を検討する。
- 施設を更新する際には、床面積を縮小することを基本とする。
- 施設の統合・整理や複合化をする際は、機能を維持しつつ総量を削減する。

【原則3】公共施設におけるライフサイクルコストを縮減する。

- 施設の長寿命化を推進し、ライフサイクルコストの縮減と平準化を図る。
- PPPや指定管理者制度の導入など、民間活力の活用を検討し、施設の更新・維持管理・運営等のコストの縮減を図る。

3.本庄市の主な取り組み

■ 「公共施設再配置計画」策定に係る市民アンケート調査

調査地域	本庄市全域
調査対象	市内在住の満18歳以上の男女個人 (平成26年6月1日現在)
調査方法	郵送配布、郵送回収
配布数	3,500人 (住民基本台帳に基づく無作為抽出)
有効回答数	1,183(総回収数1,196)
有効回答率	33.8%
実施期間	平成26年6月20日(金)～7月7日(月)
調査項目	公共施設の利用状況 公共施設の満足度 公共施設の今後のあり方 優先的に維持・充実すべき公共施設 統合・削減を検討する公共施設利用者属性 自由意見

本日のワークショップのテーマ・進め方

第1回(本日)の検討テーマ

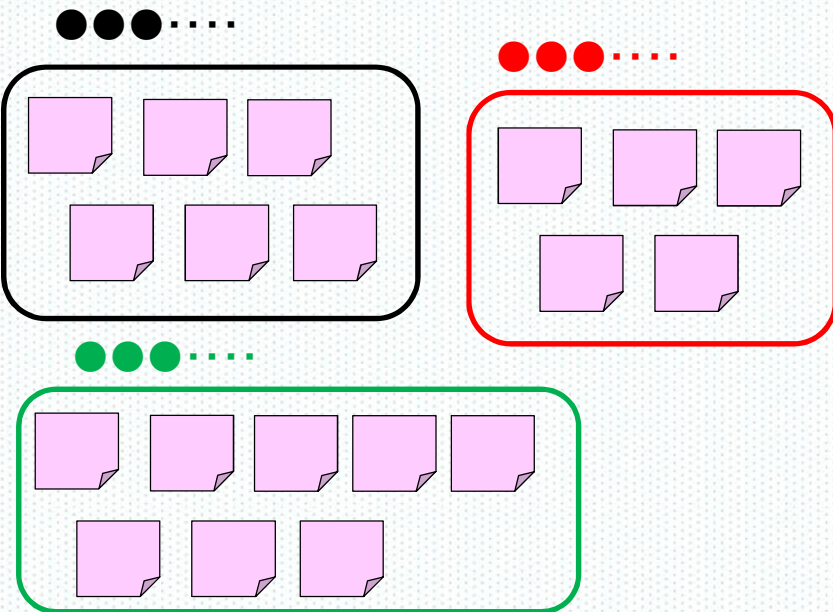
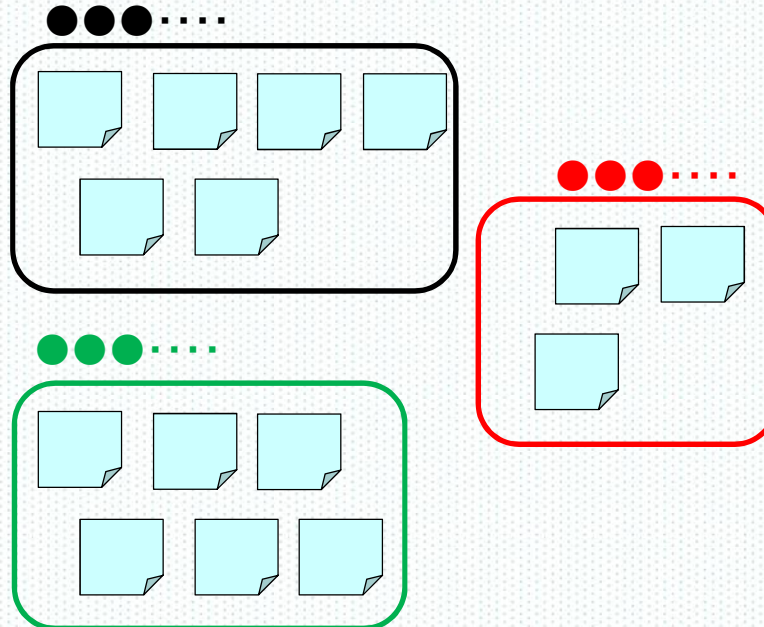
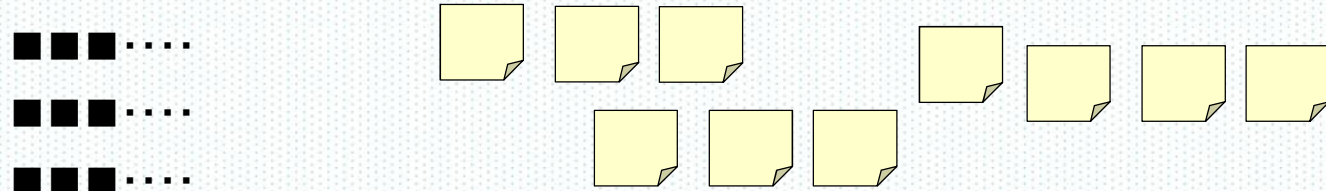
初回として「本庄市の公共施設の良い点・悪い点」を整理します。

また、「公共施設の今後のあり方(将来どうあるべきか)」を考えます。

◆ 検討方法

- ① 「本庄市の公共施設の良い点・悪い点」を各自が付箋紙に記入。(良い点:ピンクの付箋、悪い点:水色の付箋)
- ② 大判の紙に張り出しながら順に発表。
- ③ 張り出した意見を踏まえて、「将来どうあるべきか」をみんなで考える。(付箋紙・模造紙に記録)

◆各班のまとめ方のイメージ

良い点	悪い点
 <p>Diagram illustrating good summary methods using pink sticky notes:</p> <ul style="list-style-type: none"> Top-left: A group of 6 pink sticky notes (2 rows of 3) enclosed in a black rounded rectangle, with 3 black dots above it. Top-right: A group of 5 pink sticky notes (2 rows of 3 and 2) enclosed in a red rounded rectangle, with 3 red dots above it. Bottom: A group of 8 pink sticky notes (2 rows of 5 and 3) enclosed in a green rounded rectangle, with 3 green dots above it. 	 <p>Diagram illustrating bad summary methods using cyan sticky notes:</p> <ul style="list-style-type: none"> Top-left: A group of 6 cyan sticky notes (2 rows of 4 and 2) enclosed in a black rounded rectangle, with 3 black dots above it. Top-right: A group of 3 cyan sticky notes (2 in the top row, 1 in the bottom row) enclosed in a red rounded rectangle, with 3 red dots above it. Bottom: A group of 6 cyan sticky notes (2 rows of 3) enclosed in a green rounded rectangle, with 3 green dots above it.
今後のあり方	
 <p>Diagram illustrating future summary methods using yellow sticky notes:</p> <ul style="list-style-type: none"> Left: Three rows of 3 black squares, each followed by a dotted line. Center: A group of 6 yellow sticky notes arranged in two rows of 3. Right: A group of 7 yellow sticky notes arranged in two rows (4 in the top row, 3 in the bottom row). 	